



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和5年5月26日 第2号 文責：校長

広島・京都への修学旅行

学楽両道 ～3年生らしい行動で平和と文化を学ぶ旅にしよう～

本校3年生は上記のスローガンを掲げ、5月16日（火）から18日（木）まで、2泊3日の修学旅行を実施しました。

1日目は13:42に広島駅着。平和記念公園に移動し、原爆ドームの前で『大地讃頌』を合唱しました。近代的なビルが立ち並ぶ中、そこだけ時間が止まったかのように、被爆した姿のまま残された原爆ドーム。業火の中で亡くなられた方々や、被爆の後遺症に苦しみながら亡くなられた方々の鎮魂と平和への祈りを込めた合唱が、澄み渡る初夏の空の下、広島に響きました。

その後、慰霊碑前で献花と黙祷を行い、「平和記念資料館」を見学しました。夜は、宿泊したホテルの中で、語り部の榎本勝子さんのお話をお聞きしました。戦時下の疎開生活や被爆直後の街の惨状、被爆した人々の苦しみが赤裸々に語られ、「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」「いのちの大切さ」を深く考える機会となりました。

2日目は午前中に京都に移動し、11:20から19:00まで班別自主研修を行いました。事前の計画に基づいて寺社仏閣や文化的施設等を巡り、たっぷりと古都の風情を味わうことができましたようです。30℃を超える季節外れの猛暑でしたが、水分補給をこまめに行いながら研修し、充実感に満ちた表情で旅館に戻りました。



3日目の午前中はクラス別研修。「京都市水族館」「嵐山」「伏見稲荷大社」「寺田屋」「平等院鳳凰堂」をそれぞれ訪れました。各クラス担任の先導のもと、地下鉄や電車で移動し、クラスの仲間との思い出を心に刻むひと時を過ごしました。

3日間の修学旅行を通し、子どもたちは様々なことを体感し、学び、そして仲間との絆を深めたようです。学校に戻ってからも、旅先での学びをまとめる活動を行っております。ご理解とご支援をいただきました保護者の皆様へ感謝申し上げます。



2年生：わっくWORKやまのべ
1年生：やまのべ探訪

3年生の修学旅行に合わせ、2年生は3日間、町内の45の企業や商店、官公署等のご協力のもと、社会体験学習『わっくWORKやまのべ2023』を実施しました。子どもたちが事業所に出向いて働く人と接することにより、また、実際的な知識・技能に触れることを通して、社会の仕組みや働くことの意義を学び、さらには主体的に将来の生き方を考えて決定していく素地を養うことを目的として実施したものです。

お忙しい中、実のある学びになるようご支援いただきました各事業所の皆様方、誠にありがとうございました。



1年生は16日(火)『やまのべ探訪』を実施しました。「協力し、学びを深め、山辺町の魅力を再発見しよう」のスローガンを掲げ、班の仲間と励まし合いながら、「相模小学校」「山辺小学校」「ふるさと資料館」「三河観音」「安達峰一郎博士の生家」「オリエンタルカーペット」「安国寺」などを巡りました。安国寺では座禅を体験し、ありがたい説話も聞かせていただきました。地域社会の未来を担う中学生が、ふるさとの良さを改めて実感する貴重な1日になりました。

